

厳しい時ほど、前進ある経営革新を！！

1. 東大阪へ新工場移転計画推進中！

門真・大阪の再生処理工場を統合し、東大阪へ移転する計画を進めております。統合後の合理化で、現状の分散していることによる運搬面・顧客対応面でのあらゆる問題を解消できると共に、皆様のご要望に十分お答えができる体制作りを実現できることと確信しております。



リサイクルグループ
代表取締役 大天 勝正

2. ISO9001 認証取得、準備開始

おかげ様で今年4月にISO14001（環境マネジメントシステム）認証取得を達成しましたが、更なる顧客満足向上のためこの9月よりISO9001（品質マネジメントシステム）の認証取得に向け準備を開始いたしました。社員一丸となって早期取得を目指し、日々努力いたす所存でありますので今後ともご支援よろしくお願い致します。

活動状況報告

最近のお客様は、新聞やテレビ、インターネット等で新しい情報を取り入れ、「安い・早い・安心」は当然で、それ以上のプラスアルファを企業に求める傾向が多いように感じます。

我社では以前から、トラブル発生時やお客様がお困りになった時に、即座に対処・処理することをモットーに、遠距離のお客様でも距離を感じさせない努力をいつも心掛けて参りましたが、今後はそれに加えて、品質の良いものをより安く、インターネットでの情報交換だけでなく、お客様のお声やご要望を直接自分の目で確かめながら、お客様を今まで以上に満足させられるよう、日々の営業努力をしていくつもりです。

営業 藤原清司

「東京商工リサーチ」にて 弊社が紹介されました。

（H13.8月号：一部抜粋）

“環境問題に先見性！”

リサイクルグループは、「先見性を持ち、常に情報を提供できる提案型企業」を目標に、あらゆる産業分野にわたり独自の技術力と体制で、全国の2,000社以上のお客様と、信頼の絆を深めております...この一環として「環境問題」にいち早く対応、平成13年3月には「環境にやさしい」事を証明する基準として国際規格・ガイドライン「ISO14001・環境マネジメントシステム」の認証を取得。13年6月には「リサイクルグループ季刊報」を発刊し、関係筋に産業廃棄物に関する最新法規改正情報などをお知らせしております...また社内では全てをバーコードで管理してチェックミスの回避とスピード化を実現しております...

産業（特別管理）廃棄物の法律に関する改正事項情報（平成13年4月1日）

産業廃棄物管理票（マニフェスト伝票）制度の見直し

- 内容 ・排出事業者が最終処分まで終了したことを確認する流れを創設
- ・管理票の不交付及び虚偽の管理票交付を直罰
 - ・確認義務違反は措置命令の対象

- 種類ごとに交付
- 運搬先ごとに交付

（注）処分業者はマニフェスト伝票の記入もれ及び委託契約票の無いものの引き受けをしない

詳細内容についてはご相談・お問い合わせ下さい。 常務 大天 広正

このコーナーでは、当社のISO認証取得までの概要をシリーズで掲載いたします。ぜひ、ご活用ください。（ISO14001ミニガイド）

<環境側面の特定>

環境側面とは組織の活動、製品またはサービスの要素で、環境と相互に影響し合うものです。

当社では、環境側面の特定に当たっては次の事項を考慮いたしました。

- a) 大気系への放出...溶剤等の大気への環境影響
- b) 水系への排出 ...排水溝、井戸水の分析確認
- c) 廃棄物管理 ...ゴミの選別、リサイクル
- d) 土壌汚染 ...土壌汚染の有無を分析確認
- e) 原材料及び ...コピー用紙の使用
天然資源の使用
- f) 地域社会問題 ...廃溶剤の回収、リサイクル

この事項を考慮して、当然予知できる事態又は緊急事態に伴って現実に起こりうる著しい影響とともに、通常の操業状況、操業の停止及び立ち上げの状況も考慮いたしました。

この結果、著しい環境側面を特定し環境目的を設定いたしました。

1. 環境負荷化学物質対策

オゾン層破壊物質の取扱量の（1999年度対比）50%削減（2000年度～2002年度）

2. リサイクルの推進

再生処理量の（1999年度対比）50%増加（2000年度～2002年度）

3. 廃棄物対策

廃棄物の適正処理
（再生処理における残渣処理、廃棄物の削減）

4. 省資源・省エネルギー

水使用量の（1999年度対比）10%削減（2000年度～2002年度）
ガソリン使用量は取扱い高対比5%削減
コピー用紙の適正使用

5. 地域社会との環境調和

植木の推進
地域とのコミュニケーション
会社全般の美化

編集後記

長く暑かった季節もようやく終わり、しのぎやすい気候となりました。仕事への姿勢も気合いを入れ直して、新たな気持ちで頑張りたいと思います。

今回は「活動状況」という形で、現場の声を具体的に掲載することができ、社員も参加した季刊報づくりへの第一歩が踏み出せた気がします。今後とも是非、皆様のご協力をお願いしたいと思います。編集員 課長 大天 政輝



秋の訪れ



〒538-0032

大阪市鶴見区安田1丁目1番9号

TEL 06-6911-1390(代) FAX 06-6911-4048(代)

株式会社 リサイクル

リサイクルセンター株式会社 株式会社 ダイテック